

○5番 田久保奏愛君

仲津中学校2年、田久保奏愛です。今回、私は海洋汚染の取組みについて、質問します。

私は、家族で、よく海に釣りに出かけます。その際、魚が釣れず、ビニール袋が釣れたり、海岸に目をやるといろいろなごみを目にします。稲童漁港でも多くのプラスチックごみを見かけました。近年、海洋汚染の問題の深刻さをメディアなどで見聞きし、危惧しているところです。

そこで、まず市の海洋汚染対策について、お尋ねします。

○議長 白橋陽那君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

田久保議員の御質問にお答えします。私も以前、釣りの経験があるんですけども、掛かったと思って引き上げたら、ごみが釣れたというのは、本当にがっかりする経験ですよ。非常にお気持ち、お察しします。

本日、特に海洋プラスチックの問題や海のごみに対する御質問、非常にたくさんいただいておりますけれども、やはりまず市としましては、海そのものをきれいにするという以前に、まずは、やはり我々の生活から出ているごみを、何とか食い止めなければいけない。ここにまず最も力を注いでいるところでございます。

何度もこれまで申し上げてまいりましたけれども、まず不法投棄を極力なくなるようにパトロールを強化していったり、それから注意喚起、例えば看板を設置したり、また地域の方々に御協力いただいたり、それから分別の徹底といったところ。最近では、あまり分別の徹底といったところを、市からあまり情報発信はしていないかなと、当たり前のこととして市民の皆さんに御理解いただいているものと思っているところもあるかもしれませんが、もう一度皆さんに分かりやすく、この分別の徹底といったものをお願いしてもいいのかなと、きょう各議員さんからのお話を伺って、改めて思ったところでございます。

また、その他にも海の浜などの清掃活動だけではなくて、地域で、あるいは市全体での清掃活動といったものも、もっともっとより多くの方々が参加できるようなかたちで実施をすべきかなと考えているところです。いずれにしても、市としましては、ごみの減量化、ポイ捨てや不法投棄の撲滅、こういったところで市民の皆様方とさらに意識を共有して、その意識を高めていって、海に流れていくごみを減らしていきたいと考えております。以上です。

○議長 白橋陽那君

田久保議員。

○5番 田久保奏愛君

ありがとうございます。

次に、清掃ボランティアの活動などに参加したいと思いますが、市としての取り組みはありますか、お尋ねします。

○議長 白橋陽那君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

市としての清掃ボランティア活動の取り組みについてですが、先ほども少し触れましたが、市は一斉清掃といったものを行っておりまして、これは、毎年6月、10月の第一日曜日を市民一斉清掃の日と定めておりまして、市民お一人お一人が自分の住んでいる家の周辺や、今川の河川敷等の清掃活動を行っていただいております。ただ、ここ2年は、コロナ感染拡大防止ということで実施ができておりませんので、これをまた今後、秋以降やっていくかどうかということは、また実施するのであれば、しっかりと発表させていただきたいと思っています。

ただ、これもまだまだ、より多くの市民の皆様方に周知徹底、知っていただけていない現状もあると思いますし、また実際は、例えば部活動などで参加できないとか、そういったことも起こり得ると思いますので、この一斉清掃だけではなく、いろいろな方々が参加できるような市としての清掃活動ができないか。

例えば、長井浜などではスポーツ大会がある前に、その参加者でビーチクリーンと言いまして、浜の清掃活動をやったり、そういったこともありますので、いずれにしても市が主催するもの、あるいは市の主催ではありませんが市民の皆様方、市民の皆様方のグループが行っているような清掃活動、こういったものも、より積極的に皆さん方に広報、お知らせをしていきたいと思っています。

また、これも前の議員さんの御質問でもお答えしていたところですが、こういった清掃活動をする際には、市もボランティア袋などを出したり、それから集まったごみがたくさんある場合は、環境課に御連絡いただければ、取りに伺ったりということもあります。これはどういうことかということ、いろいろなグループの方々の清掃活動に参加するだけではなくて、例えば田久保議員が、ちょっと自分たちのグループで、1回清掃活動をしてみたいと思ったときに、自分たちでグループをつくって清掃活動をやってみてもOKなんです。その時にボランティア袋が必要だということであれば、私どものほうの環境課のほうに言っていただければ、あるいは私のほうに言っていただければ、そういった準備などもさせていただきますので、ぜひ御検討いただければと思います。よろしくお願いします。

○議長 白橋陽那君

田久保議員。

○5番 田久保奏愛君

ありがとうございます。

最後にプラスチックごみ削減のため、マイボトル、マイ箸、エコバック持参を心掛けたいと思いますが、市長さんが日ごろ心掛けていることがありますか、お尋ねします。

○議長 白橋陽那君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

まず、エコバックについてですが、これは、私は結構使ったり使わなかったり、これはもう正直に申し上げます。そもそも袋を使わない場合も結構ありますし、あるいは時に袋が必要だなと思うときに使う場合もあります。利用する場合もあります。この辺は、結構臨機応変に私は使い分けているというのが正直なところですよ。

一方、特にこだわりを持っているというか、昔からそうなんですけれども、カップなどに関しては、できるだけマイボトルやマイカップを使うように心がけています。ただですね、ここ最近では、実は渇水の水不足の影響で、カップを使うと、それをまた洗わなければいけないということで、渇水期間に入ってからでは、紙コップというかプラスチックの容器を使っているところですよ。この辺についても、ある程度状況に応じて臨機応変に対応しているつもりでございます。

後もう一つ個人的にこだわっているのは、衣類なんかも石油を使って化学繊維でできている物がたくさんあります。この辺については、私はできるだけ衣類というものをたくさん持たないよというのを心掛けています。正直、日ごろスーツを着ることがほとんどですし、あまりプライベートでおしゃれをするようなことがありませんので、本当に必要なものかどうかというのを考えて衣類や商品を購入するようにしています。

以上です。

○議長 白橋陽那君

田久保議員。

○5番 田久保奏愛君

ありがとうございます。以上で私の質問を終わります。ありがとうございました。